

平成 29 年 3 月 10 日
東京厚生信用組合

第 5 回 経営諮問会議の概要について

当信用組合は、理事会の諮問機関として、外部有識者で構成される「経営諮問会議」を設置しております。

本会議は、外部有識者より経営全般について助言・提言をいただき、これを経営に反映させることにより、経営の客観性・透明性を確保し、コーポレート・ガバナンスを強化することを目的としております。

過日、「第 5 回経営諮問会議」を開催いたしましたので、その概要につきまして、下記のとおりご報告させていただきます。

なお、第 6 回会議は、平成 29 年 7 月頃に開催する予定です。

— 記 —

1. 日 時 平成 29 年 1 月 31 日（火） 16 : 00 ~ 17 : 50

2. 場 所 東京厚生信用組合 本店

3. 出席者

(経営諮問委員) (五十音順、敬称略)

鈴木 豊 (公認会計士)

傳田 純 (東京都商工会連合会 専務理事)

西岡 修 (社会福祉法人 白十字会 白十字ホーム ホーム長)

(東京厚生信用組合)

稲村 久仁雄 (理事長)

中山 功 (常務理事)

高原 伸二 (常勤理事)

平山 圭樹 (常勤監事)

稲葉 文男 (企画部長)

4. 稲村理事長挨拶骨子

昨年8月に当局の承認を得ました「第二次経営強化計画」がスタートして9ヶ月が経過しました。

業績につきましては、28年度上期は苦戦を強いられましたが、下期に入ってから順調に推移してきており、29年3月期通期の計画達成も視野に入ってきてまいりました。

しかしながら、貸出を巡る環境は依然として厳しい状況が続いており、残り2ヶ月、気を引き締めて業務運営に当たりたいと考えております。

本日は、前回会議以降の経営強化計画履行状況等について、ご報告申し上げますので、委員の皆様には当組合の今後の運営について忌憚のないご意見・ご助言を頂戴できますようお願い申し上げます。

5. 当組合からの説明内容

稲葉企画部長より以下の内容について説明いたしました。

- ・経営強化計画の履行状況について（平成28年12月末現在）
- ・関東財務局検査の状況について
- ・金融仲介機能のベンチマークについて

6. 会議における主な意見

出席委員の皆様から以下のご意見・ご提言をいただきました。

- 最近の貸出業務において、不動産業向け貸出のウエイトが高くなっているようであるが、経営として、ある程度の運用基準のようなものが必要になっているのではないかと。
- 不動産業向け貸出を推進するとしても、物件に対する目利き力、期中の管理能力等を持った人材の育成が重要になってくる。経営強化計画の中で、こういった人材をどう育成していくのか、工程を明確にして管理していく必要がある。
- 個人向けローンの拡大について、色々な施策を進めているようであるが、法人に対するアプローチの仕方をもっと工夫した方がいい。そのためにも顧客のデータの整備とデータに基づいたニーズの把握をしっかり行う必要があるし、営業力の高い職員を育成していく必要がある。
- 事業承継支援が、なかなか進まないということであるが、商工会連合会等では無料で相談員を派遣する制度を設けているので、ぜひ利用されたい。
- 数字を見る限り、経営の改善が相当進んでいることはよく分かるし、職員の皆さんの努力も敬意に値するが、全体として感じたことは、もう少し施策の工程を計画の中で明示すべきと思う。
- 事務管理レベルの向上のためには、事務ミスの原因をしっかり把握し、それに沿っ

た対応策を組織的に進めていく必要がある。

7. 稲村理事長からの回答

大変貴重なご意見をいただきましてありがとうございました。

引き続き、第二次経営強化計画の達成に向けて頑張っていきたいと思えます。

以上